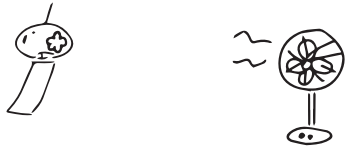


Youth  
Manna

2021/8/2 - 8/8



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/8/2(月)

## 使徒 18:18-28

パウロはエペソに寄って会堂で論じた後、エルサレムの教会に挨拶してからアンティオキアに戻った(22)。ここまでが第二次伝道旅行になるよ！

そして23節から第三次伝道旅行が始まる。パウロは今まで開拓した教会を巡って弟子たちをカブけたんだね。ここでプリスキラとアキラが残っていたエペソの町に視点が向けられる。ここではヨハネのバプテスマしか知らなかったアポロに、プリスキラとアキラがもっと正確に神の道を教えるという大切な役割を果たすよ。

君にとってのパウロ、プリスキラとアキラのような人は誰だろう？教えたり指導したりしてくれる人がいることを感謝しよう！そして、自分も他の人の歩みを助ける者となれるように祈ろう！

2021/8/3(火)

## 使徒 19:1-10

エペソでの伝道がこの箇所から始まるよ！第二回伝道旅行でもエペソを訪れていたけど、神様が再びエペソへの道を開いてくださったんだね(18:21)

エペソではどのくらいの期間滞在していたか調べてみよう！他の町と比べて、かなり長い期間をこの町で過ごしたことがわかるね。そして、エペソを拠点として毎日人々を教えた結果、その周りの町々にも福音が伝えられていったんだ。黙示録2,3章の7つの教会は、このエペソの周りにある町々の教会だよ。そしてエペソは中でも最も重要な伝道の拠点となったんだ。

宣教も聖霊の導きによって戦略的に行われていくんだね。今の時代に合った伝道の方法も神様が教えて導いてくださるように祈ろう！

2021/8/4(水)

## 使徒 19:11-22

イエス様は、「わたしを信じる者は、わたしが行うわざを行い、さらに大きなわざを行います」(ヨハネ14:12)と言われた。主イエスの宣教同様、使徒たちの宣教も、多くのしるしと不思議が行われ、それによって多くの人々にイエスの名が届けられた。

また、祭司長スケワの7人の息子たちが、イエスの権威も、悪霊が持つ力も知らずにイエスの名を乱用したため、散々な目に遭った。そしてそれが知れ渡り、人々は悪霊の力と、それを上回るイエスの御名を知り、あがめるようになった。さらに罪の悔い改めが起こり、主のことばは力強く広まっていった。

置かれた場所で、主のことばを述べ伝えることができるよう祈ろう！

2021/8/5(木)

## 使徒 19:23-40

デメテリオと仲間たち銀細工職人達はアルテミス神殿の模型の上にすえられた女神アルテミスの銀の像を製作し莫大な利益を得ていた。アルテミスはギリシア神話のゼウス神の娘で、アポロンと双子の姉妹とされる。日本でいうと仏具を販売している人のようなものである。

だからこそパウロたちのキリスト教の宣教は莫大な富をもたらす産業の邪魔をされると考え暴動が起きた。しかし、冷静な書記官によって騒動は収められた。これも神様のはたらきによるのであろう。

日本でも多くの偶像が産業になってしまっている。初詣でや神社が携わっているお祭りもそうである。しっかりと線を引いて生活できているだろうか？改めて気をつけて生活しよう！！

ハムの日

2021/8/6(金)

## 使徒 20:1-12

▶エペソを出発したパウロは、御霊によって示された通りに(19:21)、マケドニアとギリシアへ行ってからエルサレムに帰ろうとした。マケドニアには、第二次伝道旅行で開拓した教会があったので、パウロは多くのことばをもって励ました。

▶パウロはシリアを通過して帰ろうとした。しかし、悪いことをたくらんでいる人がいたので、帰り道の計画を変えた。そしてトロアスという町に滞在したところ、その町の人たちは非常に慰められた。

▶御霊によって示された道を歩む時、予想と違う方法で、主は私たちを用いられることがある。上手くいかないと感じた時こそ「主に信頼します」と祈りたい。

2021/8/7(土)

## 使徒 20:13-24

パウロは自分がこの先、死ぬまで戻って来られないことが分かっていた。だから、1日半歩かなければ来られないエペソの長老たちのことも呼び寄せたんだ。パウロはこれから先、神様からの使命をどのように歩むべきかを、自分の証も分かち合いながら伝えたいんだね。

この後に待っている、苦しみを分かっているながらもパウロは落胆せず、次世代を担う長老たちに語る事ができた。24節を読むと、なぜパウロがそこまでできたのか、パウロが大事にしてきたことが見えて来るよ！

私たちもその心を受け取っていきましょう！次の世代のために自分ができることは何かもぜひ考えてみよう！

2021/8/8(日)

## 使徒 20:25-38

32節でパウロはエペソの長老たちに、あなたがたを神とその恵みのみことばにゆだねますと語りました。そしてそのみことばは①あなたがたを成長させる②あなたがたに御国を受け継がせることができる、とされています。みことばは神の恵みとして、力として、今を生きる私たちにとっても同じように与えられています。

パウロは1コリント1:18でも、このように語っています。「十字架のことばは、滅びる者たちには愚かであっても、救われる私たちには神の力です。」

私たちにとってみことばは、神の力として自分を成長させるものになっているでしょうか。静まり、自分にとってみことばがどのようなものであるのか、祈って考えてみよう。